

福島浜通り地域の国際教育研究拠点に関する有識者会議
大学アンケートについて（案）

1. アンケートの目的

- ・「経済産業省 国際産学連携拠点に関する検討会中間整理（平成27年3月31日）」等においては、多様な研究分野を対象とした産学官共同研究室・施設を起点に研究・教育拠点を構築することが提言されているところ。
- ・福島浜通り地域における、廃炉・ロボット・エネルギー・農林水産業等多様な分野を対象とした国内外の人材が結集する国際教育研究拠点整備・人材育成のあり方に関する検討の参考とするとともに、今後の具体化に向けて協力が得られる可能性のある大学及びその構想の状況について把握するため、アンケートを実施する。

2. アンケートの実施方法

- ・時期：令和元年8月中に発送 9月末回収 10月以降とりまとめ
- ・対象：全国の国公立大学
※短期大学・高等専門学校・専門学校は除く

3. アンケート項目イメージ

※各大学において、必要に応じて協力が得られる可能性のある教員に確認を行い回答

※関心や構想、活動の有無を確認したうえで質問を深掘する形を想定

○浜通り地域において実施したい教育研究活動等の構想

ー浜通り地域における教育研究活動に係る構想がある場合、その概要及び必要となる施設・設備等のほか、学部・大学院等の設置を伴う場合はその規模感（入学定員・収容定員、必要となる専任教員等）について記載

ー上記のような組織の設置によるものではなく、既存の組織を生かしつつ、他大学等との連携により国際教育研究拠点整備・人材育成に参画する場合は、現行の取組や他大学等との連携状況等について記載

○上記構想を実現するために解決すべき課題（例えば、所要の財源・施設・設備、専任教員、学生等の確保の見通し、教員や学生等、学内における調整、国際教育研究拠点として適切な教育課程の編成、現地における研究、生活環境等）

○現在、浜通り地域を含む福島復興を主たる目的の一つとして、取り組んでいる活動（教育、研究、その他の地域貢献等）

○その他、今後、浜通り地域を含む福島復興の観点から、自大学を含め我が国の高等教育機関が貢献し得る教育研究のあり方や、国や自治体、産業界等が我が国の高等教育機関に対して講じるべき措置のあり方等